

「アジアの資本主義：多様性と制度変化」  
博士特別研究員の募集について  
公募〆切 2018年3月31日

パリ日仏高等研究センター(CEAFJP)では、博士号取得者および博士号取得予定者を対象に、「アジア資本主義：多様性と制度変化」プログラム遂行にふさわしい知識と資質を有する方を募集します。選考委員会による審査をへて、**博士特別研究員に採用された者は**、2018年11月1日から2019年8月31日までの10ヶ月にわたり、**フランス国立社会科学高等研究院(EHESS)**を拠点に研究活動に従事します。

### 研究課題

欧米の経済学・社会学・政治学における資本主義経済に関する議論は、1990年代以降の政治・経済変動の進展を重要な契機として、資本主義の多様性という形で新たな展開を遂げました。その結果、近年において、比較経済学や政治経済学の理論と手法がアジアの事例に体系的に適用されるようになり、特に制度構造分析の分野では大きな進展を示しています。同時に、アジアの制度変化や新しい資本主義のダイナミクスは、欧米主流の理論面に対する新たな課題を示しています。

本「**アジアの資本主義：多様性と制度変容**」博士特別研究員プログラムは、アジアにおける現代資本主義の変容を統合的に把握し、グローバル・ナショナル・ローカルという異なるレベルの資本主義のあり方に注目し、また技術・社会・政治的諸要因との相互関係において捉えることを目的としています。特に、コーポレート・ガバナンスの多様性と変容、不平等と福祉、開発主義国家に焦点を当てた研究プロジェクトを歓迎します。

政治経済学、社会学、歴史学、法学の分野において博士号を取得した者他、アジアの経験を比較研究あるいは通時的およびグローバルな視点から分野横断的に取り組む研究プロジェクトを奨励します。

### 任務

博士特別研究員は下記の任務を遂行します。

- CEAFJP の主要研究課題の一つである 「資本主義の多様性と制度変化」グループのメンバーとして、プログラムの運営に参加。
- 上記グループの研究員と協働し、任期期間中に自身の研究テーマに関する 30~50 ページのディスカッションペーパーを提出。
- CEAFJP が運営する EU 助成の多年度研究者交流プログラム「アジア制度変化に関する理論的及び実証的研究：欧州との比較の視座より」のメンバーとして、研究活動および活動報告書の執筆に参加。
- EU の資金助成機関「欧州研究会議 (ERC : European Research Council)」の助成獲得に向けた準備グループに参加し、欧州およびアジアの研究者と連携をとり、申請に向けた準備に貢献する。
- E H E S S のセミナーに公演者として参加する。

### **採用期間**

2018年11月1日から2019年8月31日までの10ヶ月にわたり、**博士特別研究員には研究奨励金が支給され（給与所得とみなされ課税の対象）、パリを拠点に上記プログラム遂行に専念します。** オフィススペース、デジタルサービスへのアクセス、事務補佐が提供されます。

### **応募資格**

2015年10月以降に博士号を取得した者、あるいは2018年10月までに博士号を取得する者。英語もしくは仏語の言語コミュニケーション能力要。

### **応募**

応募書類は以下の書類を添付し、2018年3月31日24時(仏時間)までに、メールにて以下のアドレスに提出。[applications\\_ffj@ehess.fr](mailto:applications_ffj@ehess.fr)

- 必要事項を記入した[応募フォーム](#)
- パリ滞在期間に実現する予定の研究概要（最大5ページ）。研究目標、研究分野と研究方法、
- 期待される成果、パリで研究する動機、過去および現在の研究成果との継続性、既に交流のある欧州拠点の研究者あるいは新たに研究交流を行うことを望む研究者・機関の有無を明記。
- 業績リストを含む履歴書
- 志望理由書(カバーレター)
- 推薦状2通